中国白酒の価格追跡バスケット、2日連続で上昇

12銘柄の小売価格バスケットは9元上昇して10,496元に。ただし、限られたサンプルから幅広い需要は読み取りにくい

2026年11月16日（月）



金融ニュースメディアGelonghuiが公表した市場レポートによると、Sina Financeを通じて配信されたJiujia Neicanの小売価格モニタリングでは、中国で追跡対象となっている白酒12銘柄の価格バスケットが、11月14日に2日連続の日次上昇を記録した。

選定された12銘柄を各1本ずつ購入した場合の小売価格の合計は、11月14日に10,496元となり、11月13日の10,487元から9元上昇した。公表された数値に基づく上昇率は約0.09％だった。

レポートによると、12銘柄のうち8銘柄が値上がりし、3銘柄が値下がり、1銘柄は変わらなかった。データは過去24時間の価格収集を反映している。Gelonghuiは、この動きをバスケットの2日連続の

上昇と伝えた。

白酒は穀物を原料とする中国の伝統的な蒸留酒で、大衆向けのボトルから、ビジネスの場や贈答用に使われることの多い高級ブランドまで、幅広い価格帯で販売されている。レポートが引用した指標は、販売総額や出荷量、業界全体を対象とする価格指数を測定したものではない。選定された12銘柄の平均小売価格の合計のみを追跡している。

公表された変動幅が小さく、サンプルも限られているため、この区別は重要だ。1万元を超えるバスケットの9元の上昇は、価格設定の大きな変化というより、日々のわずかな値動きを示している。レポートには前年同期との比較や、より長期的な推移を示すデータ、業界全体の累積指標はなかった。

また、価格変動が消費者需要の強まり、流通業者による調整、在庫管理、短期的な小売販促の終了のいずれによるものかも、元資料からは分からない。今回の値上がりが白酒消費の幅広い回復や、中国の蒸留酒市場全体の転換を反映していることを示す根拠も示されていない。

この指標はむしろ、市場の一部における小売価格の限定的なスナップショットといえる。バスケットは白酒全製品を統計的に代表するサンプルではなく、選定された銘柄で構成されているため、数値は業界を決定的に測る指標ではなく、価格動向を追うためのシグナルとして扱うべきだ。

Gelonghuiは、Jiujia Neicanを元の価格モニタリング情報源、Sina Financeをそのデータの配信先として挙げ、継続的な市場報道の一環としてこの情報を伝えた。いずれも情報源であり、業界全体の生産者団体ではない。公表記事も、このバスケットが白酒市場全体を代表するとはしていない。

それでも、中国の消費財価格の日々の小さな変化から、高級食品・飲料分野の動きを探る投資家やトレーダーの関心を集める可能性はある。その観点では、11月14日の数値は、値下がりした銘柄より値上がりした銘柄が多いなか、追跡対象の小売価格バスケットが小幅に上昇したことを示した。一方、需要や業界全体の方向性について幅広い結論を導くには、十分な根拠がない。